

科目分類	共通科目		開講時期	1・2年 後期		
研究キーワード	個人最適化医療・治療的薬物モニタリング					
科目名	臨床薬理学					
英文	Clinical Pharmacology					
選択／必修	選択	単位数(時間数)	2単位	30時間	授業形態	講義
担当教員	山崎 弘美					
メールアドレス	h-yamazaki@tsuruga-nu.ac.jp		オフィスアワー	授業後		

授業目的	授業では、①治療薬の有効性と遺伝的要因、②治療薬による有害反応を予測するための遺伝的要因、③薬物の有効性と安全性に及ぼす時間的要因等の習得を目指す。
授業概要	薬物療法においては個人最適化医療の重要性が高まっている。これを理解するために、遺伝的要因を考慮した薬物動態学および薬物治療学に加えて、時間薬理学についても教授する。また、薬理遺伝学の理解を深めるために、簡単なパッチテスト等を実施する。
授業計画	第1回 薬の体内動態(吸収・分布・代謝・排泄) 第2回 薬の生体膜通過(トランスポーター) 第3回 薬の代謝 第4回 遺伝子多型と個人最適化医療 第5回 薬物代謝酵素の個人差 第6回 薬物代謝酵素の人種差 第7回 トランスポーターの人種差 第8回 総合討論(1)(アルコールパッチテスト) 第9回 薬物相互作用 第10回 薬物反応の個人差 第11回 薬物反応の人種差 第12回 治療的薬物濃度モニタリング(TDM) 第13回 薬物有害反応 第14回 時間薬理と治療効果(時間治療) 第15回 総合討論(2)

教材 参考文献等	資料は適宜配布する。参考書：臨床薬物動態学(改訂第 4 版) (南江堂) (2009)、臨床薬理学(第 3 版) (医学書院) (2011)
成績評価 基準・方法	試験 (80%) と総合討論時の口頭試問 (20%)
履修要件	特になし。
関連科目	専門基礎科目全般
留意事項 その他	前回の講義内容を復習して、講義に出席すること。